

## てんぷら油等をリサイクルした燃料でゴミ収集車を走らせます ～てんぷら油号発進！！～

千葉市では、廃食油（てんぷら油・サラダ油等）をリサイクルしたバイオディーゼル燃料（BDF）を、ゴミ収集車の燃料として利用する「バイオディーゼル燃料（BDF）利用実施事業」を、試行的に行いますので、お知らせします。

### 1 目的

本市では、地域団体や事業者と協働で、廃食油を回収・精製し、バイオディーゼル燃料等にリサイクルする資源化ルートを構築し、ごみの減量・再資源化を推進しています。

このバイオディーゼル燃料を、新たに環境事業所のごみ収集車の燃料として活用し、これを周知することで市民の廃食油のリサイクルに関する認知度を高め、回収量及び回収拠点の拡充を図るとともに、環境にやさしいバイオディーゼル燃料を活用することで環境負荷を軽減し、低炭素社会の形成を目指します。

### 2 実施概要

#### (1) 期間

平成28年5月9日（月）～平成29年3月31日（金）

#### (2) 対象車両

若葉・緑環境事業所のごみ収集車 2台

メーカー	車体の形式	種別用途
三菱	キャブオーバー	普通貨物
三菱	塵芥車	普通特殊

#### (3) 内容

ア 対象車両の燃料を、軽油からバイオディーゼル燃料（B100：100%バイオディーゼル燃料）に変更します。年間使用量見込み：4,800ℓ

イ ゴミ収集車の前面及び両側面へバイオディーゼル燃料利用車である旨の横断幕等を掲示し、周知を行います。

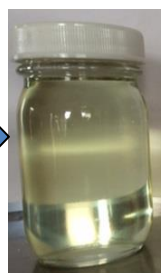
ウ バイオディーゼル燃料の利用に係る車両への影響調査等を外部委託して検証を行い、利用車両の拡充を目指します。



回収



回収した廃食油を精製し、バイオディーゼル燃料へ



バイオディーゼル燃料で  
ゴミ収集車を走らせる

#### (4) バイオディーゼル燃料利用による効果

ア 利用するバイオディーゼル燃料は、市民から集めた廃食油を市内事業者が精製したもので、この廃食油のリサイクルを広くPRすることで、市民のリサイクル意識の向上が図られ、回収拠点及び回収量の拡充によるごみの減量・再資源化につながることを期待できます。

(H27年度 拠点数：27 拠点、回収量：5,345ℓ)

イ バイオディーゼル燃料は植物由来の廃食油で作られることから、二酸化炭素を排出しても、植物が成長過程で吸収した二酸化炭素を大気中に返すというカーボン・ニュートラルの考え方により、地球温暖化の原因と考えられている二酸化炭素の増加にはつながらず、環境負荷を軽減できます。

(B100 利用により 12.384 t の CO2 を削減)

ウ 排気ガスに含まれる硫黄酸化物がほぼ無く、健康被害が軽減できます。